

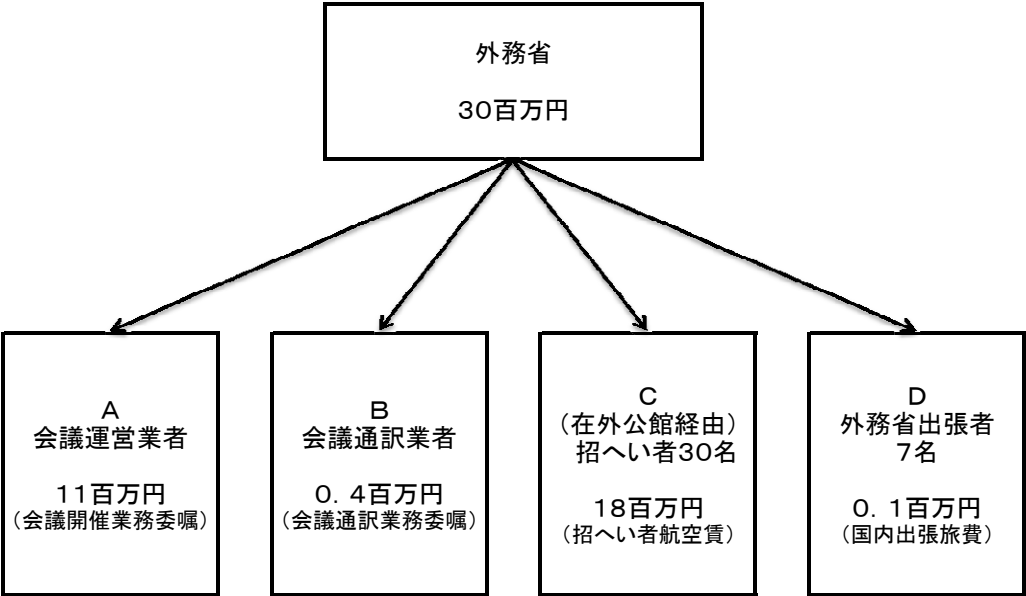
平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	太平洋・島サミットハイレベル中間閣僚会合開催			担当部局庁	アジア大洋州局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始・終了			担当課室	大洋州課			課長 児玉 良則	
会計区分	一般会計			政策・施策名	基本目標Ⅰ：地域別外交 具体的施策：Ⅰ－1－8 太平洋地域諸国との友好関係の強化				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令42条			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中間閣僚会合では、太平洋・島サミット参加国の閣僚級の参加を得て、第6回サミットにおける我が国の支援及びコミットメントの実施状況等をレビューするとともに、今後の在り方や地域情勢について協議を行い、島嶼国との関係を強化する。また、東日本大震災からの復興状況と我が国の防災への取り組みをアピールすべく、被災地訪問を実施する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東京において、太平洋・島サミット参加国の閣僚級の参加を得て(14の太平洋島嶼国・地域から関係及び随員各1名を招へい。オーストラリア、NZについては自費)、上記目的を達成するための我が国主催の会議を開催する。また、会議のサイドイベントとして、被災地訪問を実施する。								
実施方法	■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	29	—	—	30	—		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	29	—	—	30	—		
	執行額		24	—	—				
執行率(%)		83%	—	—					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	太平洋島嶼国との関係強化及び招へいした閣僚級の数			成果実績	件	14	—	—	14
				達成度	%	100%	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施した国際会議の回数			活動実績 (当初見込み)	回	1	—	—	1
				()()()()					
単位当たりコスト	24 (百万円/回) (平成22年度)			算出根拠	執行額/実施回数 (平成22年度)				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	同時通訳他謝金		1	—	平成25年度限りの経費				
	会議開催経費		3	—					
	国内出張旅費		0.1	—					
	招へい者航空賃他		26	—					
計		30	0						

事業所管部局による点検					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国家間関係を含む外交政策に関わる事業であり、国が実施すべき事業	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	事業の目標達成はもちろんのこと、合理的な支出を行い、コスト削減に努める。				
外部有識者の所見					
—					
行政事業レビュー推進チームの所見					
	—				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年 新25-18

個別事業名:

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※平成25年度新規事業であり、未契約であるところ、現時点での支出イメージは以下のとおり。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

個別事業名：

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名：

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					